

肥後 洋一郎 <http://y-higo.net/>

# GO! GO! HIGO JOURNAL

公明党 大阪府議会議員 肥後 洋一郎 府政事務所

〒572-0835 寝屋川市日之出町2-5 園貴々堂ビル203号 TEL:072-812-3140 FAX:072-812-3145

2019年 冬号



## 就職氷河期世代への支援を!

いわゆる「就職氷河期世代」に対する府内市町村や民間企業における採用機運の醸成や組織の活性化に繋げるべく、大阪府において就職氷河期世代を対象とした採用試験を実施することを吉村知事に要望しました。「就職氷河期世代」への支援については代表質問でも取り上げ、大阪労働局、経済団体や支援機関等と連携し、支援対象者ごとの事業計画の策定や目標の設定など、具体的な支援策を検討することを訴えています。また、委員会では、そのほかにも働き方改革の推進として長時間労働の見直し、テレワークの推進、フレックスタイムの導入などを訴えています。



質問に答える吉村知事

### 就職氷河期世代

1993年から2004年に学校卒業の時期を迎えた世代。90年代初めのバブル経済崩壊後に新卒採用に臨まざるを得なかったため、無業や不安定な就労環境に陥っている人が多く、現在30代半ばから40代半ばに当たる約1700万人に上る。



## 地域の課題解決へ! 市町村を対象に政策懇談会を実施

府議会公明党は11月7日から同28日にかけて、大阪、堺の両政令市を除く府内41の市町村を対象に政策要望懇談会を実施しました。各首長らから直接、地域の課題や要望を聴き府政に反映させるとともに、課題によっては国にも要請していく。同懇談会は今年で7回目。このうち11月21日には地元寝屋川市と意見交換。寝屋川市からJR学研都市線沿線、京阪本線沿線のまちづくりや浸水対策、子育て支援策などの要望を受けました。来年度予算編成の議論に反映させ、地域の課題解決へ公明党のネットワークの力を発揮していきます。



広瀬寝屋川市長らと意見交換 (2019.11.21 大阪府庁)

## 自動運転バス導入へ

### 自動運転技術の取り組み視察



フランス製の自動運転バス（電気自動車）

11月25日、千葉県の東京大学 柏キャンパスを訪れ、民間事業者の自動運転技術導入、運用に関する取組みについて視察しました。GPS受信機やカメラ、遠隔運行管理システムなどを備えた小型バスに乗車。走行の制御技術や乗り心地を確かめたほか、担当者から車内の乗客の動作を認識して転倒を検知したり注意喚起したりするAI（人工知能）など、安全対策について説明を受けました。人口減少、少子高齢化が進む中、地方のバス路線は運転手不足等の理由で路線が縮小し、いわゆる交通弱者の問題が深刻になっています。自動運転技術の進展によって、決められたルートの輸送業務の省力化が期待されています。大阪においても自動運転技術の積極的な導入を推進していきます。

府政に対するご意見・ご要望をお寄せください。



# 公明党 大阪府議会ニュース

令和元年 冬号

Komeito Osaka Prefectural Assembly News

発行／公明党大阪府議会議員団

〒540-8570

大阪市中央区大手前2-1-22

TEL:06-6941-0286

FAX:06-6942-4060

## 安全運転支援装置に補助 高齢者向け 重度障がい者に府独自の就業支援を 9月定例会 公明党府議団代表質問より

9月26日に始まった令和元年9月定例会で、公明党大阪府議会議員団は府政の諸課題に対し、府民の立場から議論を展開しました。10月3日には中村広美議員（政調会長、大阪市住吉区選出）が代表質問に立ち、高齢運転者の安全対策や重度障がい者の就労支援などについて質疑・質問をしました。詳細は以下の通りです。

### 一定の条件で来年度実施へ 高齢運転者の安全対策

高齢者の事故防止に免許の自主返納を促すことも重要だが、生活上運転せざるを得ない人もいるため、個々の状況に応じて車の安全運転支援装置の設置を補助するよう府に求めました。府は緊急対策として、来年度から75歳以上で認知機能低下のおそれがある人を対象に装置の設置補助をしたい、との考えを示しました。



▲代表質問する中村議員（府議団政調会長）

### 対象者と支援内容を検討 重度障がい者の就業支援

国の重度訪問介護制度を使った場合、就労中は食事や外出などの支援が受けられません。国に先駆け、府独自の就業支援を「市町村と連携し、モデル的に実施すべき」と提案しました。府は独自の支援制度について対象者の範囲と支援内容などを検討していると答弁しました。



### 特別支援学校の福祉避難所指定へ 働きかけを

災害時に府立特別支援学校に通う児童・生徒やその家族らが安心して避難生活を送れるよう、市町村に働きかけて福祉避難所に指定してもらうことを府に求めました。府は現状の7校から指定が進むよう取り組む考えを示しました。



### 命を守るハード、ソフト両面の災害対策強化を

・討論より・

10月25日の本会議で上程議案や府政の諸課題に対し、公明党府議団の意見を表明する「討論」をしました。概要は以下の通りです。

#### ●災害対策水害

想定を上回る水害が頻発していることを踏まえ、命を守るハード、ソフト両面の災害対策の強化を。難病や慢性疾患等の患者向けの医療・医薬品の提供体制の整備、液体ミルクの備蓄等の災害時の要配慮者対策を進めるべき。

#### ●森林環境税

森林環境税を使い、危険渓流の流木対策を進めるとともに、熱中症の発症リスク低減に向けた取り組みをすべき。

#### ●ギャンブル等依存症対策

IR（統合型リゾート）開業に向けては、環境アセスメントにかかる現況調査より、府民が不安に感じているギャンブル等依存症の取り組みの方が重要。実態把握を早急にすべき。

#### ●文化・スポーツ振興

府民の文化芸術活動やスポーツへの支援は大阪の成長に不可欠。

2021年にはワールドマスターズゲームズが府内5市をはじめ関西一円で開かれる。一層文化・スポーツ支援を充実すべき。



公明党大阪府議会議員団ホームページはこちら。  
▶ <http://www.komei-fu.com>

